資料６

プロジェクトチームの取組について

令和８年度の取組内容

- 7 月 21 日から 8 月 14 日の間に連携事業を庁内から募集したところ、6 所属から 10 事業を応募いただきました。応募事業について、関係所属とのヒアリングを行ったうえで、交通局において、「増客効果」「実現可能性」「費用対効果」等を精査し、以下の事業を選定させていただきました。
- 今後、事業の具体化・実行に向けて、関係所属と交通局の担当者でプロジェクトチームを組成し、取組を進めてまいります。

選定事業一覧

所属	企画名
子ども若者はぐくみ局 子ども若者未来部 育成推進課	ＭＯＴＴＯ！親子の「おでかけＭＯＴＴＯ！」応援プロジェクト ①　ベビーカーでも安心 ＭＯＴＴＯ！バス活用術の発信 ②　ＭＯＴＴＯ！湯めぐり子ども銭湯の旅※1
都市計画局 まち再生・創造推進室	meetus 山科 - 醍醐（だいご me アートとの連携）※2
環境政策局 地球温暖化対策室	脱炭素転換×市バス・地下鉄利用促進！ 環境・文化学習『カーボンニュートラル御朱印』ラリー企画
洛西支所地域力推進室	市バスで「もっと」洛西へ！地域を灯す「京都西山竹あかり in 京都市洛西竹林公園」※3

※１　着地型イベントを含め、市バス・地下鉄の利用促進に繋がる企画内容への調整が整えば実施

※２　だいご me アートの企画内容・条件が整えば実施

※３　洛西管内のバス移動の促進に繋げられるような企画への調整が整えば実施（ただし、ＰＴとしてはイベント実施に係る費用を除く）

（参考）令和７年度の取組結果

洛西支所×交通局 ＢＵＳ ＭＡＲＣＨＥ：らくさいさくらまつりでのＰＲ

- 洛西地域において、集客力のあるイベントでＰＲを行い、バス及び洛西地域の魅力を知ってもらうことで、バスの増客及び洛西地域の活性化に繋げることを目的として企画。集客力もあり、子ども連れも多く来場するため、バスへの愛着を持ってもらい、将来の利用促進に寄与することも期待できることから、令和８年３月28日に「第31回らくさいさくら祭2026」にブース出展することとし、以下の企画を実施。

・市バス車両を展示し、市バス車内に乗車をしてくれた方に交通局と西京区マスコットキャラクター「たけにょん」とのコラボトートバッグを配布

・「車内くつろぎスペース」として、市バス車内でＢＧＭとして京都市交響楽団のＣＤを流すとともに、洛西図書館による絵本などの出張図書コーナーを設置し、特別なくつろぎ空間を提供

・「バス停フォトスポット」（交通局制服も貸し出し）とＳＮＳフォローキャンペーン

交通局ＳＮＳをフォローのうえ、フォトスポットやバス車両等の写真を撮影し、ＳＮＳに投稿してくれた方にオリジナルぷっくりシールをプレゼント





京都市をMOTTO！でＪＡＣＫするっ！（サウンドロゴ制作・ＳＮＳ等を活用した情報発信）

- 京都市民に赤字系統の存在を改めて認知してもらい、赤字系統の利用促進という課題を「自分事化」して捉えていただいたうえで、利用促進に繋げる必要があるという考えのもと、若年層（20～40代、単身や夫婦、子育て世代を想定）の京都市民をターゲットとした利用促進策として、サウンドロゴを制作し、それを活用した情報発信を企画。実施に向けては、プロポーザル方式で事業者選定を実施し（3事業者から応募あり）、受託事業者と調整のうえ、以下の内容の情報発信をＳＮＳやデジタルサイネージ等で実施。

・発信期間：令和８年２月～３月

・発信実績：全16回の投稿

※地下鉄・バス沿線の魅力、地下鉄・バスを活用したアクセス方法や利便性等、

※地下鉄・バス沿線の魅力、地下鉄・バスを活用したアクセス方法や利便性等、
利用者にとって有益かつ魅力的な情報をコンテンツとして制作し、発信

（サウンドロゴ）

子育て世代をターゲットにしていることも踏まえ、子ども達の声を使用したサウンドロゴを制作することとし、洛西エリアにある福西保育園に協力いただき、子ども達の「もっと！」という音声の録音を実施。当該音声を活用し、サウンドロゴを制作した。





（投稿例）

・難読漢字チャレンジ（京都市バス停留所名を中心に、難読地名）

※約 33.6 万ビュー（その他のリール投稿の平均ビュー数は約 3,300）

・市バスで行く!週末お出かけスポット（洛西エリア）

・地下鉄×市バスで行く京都人の穴場さんぽ（山科、伏見エリア）







（参考）交通局 Instagram フォロワー数推移

4,935 人（令和 8 年 1 月）→6,318 人【+28%】（令和 8 年 3 月 31 日時点）